

# かけはし

もりよし荘だより

No. 19

令和2年4月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

<http://www.akita-kouraku.jp/>



例年よりも暖かいひな祭り  
春の訪れを告げるかのよう...



# 桃の節句を満喫

春の訪れを祈りながら



ひな壇の飾りつけをする利用者

春の訪れを待ち望み雛人形が飾られた。

3月3日は「ひな祭り」。女の子の健やかな成長を願い、綺麗な雛人形を飾ってお祝いをする日本の春の伝統行事。利用者の皆さんはひな壇が飾られると「やっばりいいな」「玄関が華やかになっていいね」と代わる代わる見学や記念撮影をされていた。ひな祭り当日には各ユニットや通所

では趣向を凝らしたお菓子やゲームが行われた。

ひな壇を眺めたりひなあられを食べたりした利用者は子供の頃などを思い出したようで「昔は貧乏で雛人形なんて買ってあげられなかった。食べる事に精一杯で...」。「孫に立派なひな人形を買ってあげた。」「ひし餅は食紅を入れて作ったものだ。」と昔話に花を咲かせていた。

## 笑顔の交流会



利用者の前でダンス

10月15日、比内支援養護学校中等部の生徒さん達との交流会が開かれた。

恒例の行事となった交流会に利用者の皆さんも心待ち

## 森吉中学校 ブラスバンド 演奏会

10月22日、森吉中学校吹奏楽部の皆さんが来荘され、演奏会が開かれた。学生たちの素晴らしい演奏に会場は賑やかな空気に包まれた。

皆さん孫を見るような眼差しの中、涙ぐむ利用者も見られた。体を使った歌なども披露され、利用者も一緒に手を手を動かしていた。

演奏が終わると拍手と共に「また来て欲しい」、



素敵に音色に聞き入る皆さん

「もつとたくさん演奏が聴きたい」など早くも次回の来荘を希望する声が多数聞かれた。



一緒になってゲームを楽しむ

ちにしていた様子。「今回は何して遊ぶべか」とお互いに良い顔をしていた。

# 大きな掛け声 元気に豆まき

〈邪気退散〉

もりよし荘での毎年の恒例行事となつている節分の豆まきが、2月3日に各ユニットで行われた。

それぞれのユニットで趣向を凝らし、鬼に扮装した職員に向かって「それ、鬼は外！福は内！」と、自らの邪気を払い、無病息災を願いながら元氣よく皆で豆をまいた。

「これで悪い病氣ならず元氣に過ごせるな」と、笑顔だった。



職員扮する鬼に豆をまく利用者



# 童心に帰って

## ～クリスマスを満喫～



職員サンタからプレゼントをもらう利用者

12月クリスマス会が各ユニットで行われた。感染予防のため、全体的なクリスマス会は行わず、各ユニットで趣向を凝らしたクリスマス会が行われた。

「小さいころに戻ったようだ」少し照れながらもクリスマスを楽しまれている様子であった。



サンタの格好で記念撮影



おみくじを引いて今年を占う

特色のある「新年会」が行われた。職員が用意したおみくじを引いたり、書き初めを一文ずつ協力し合っ



福笑いを楽しむ利用者



皆で協力しての書初め

年の始まりに思いを馳せながら「やっぱり健康が一番だ」「書初めをすると気が引き締まる思いだ」などと語り合っていた。

### 令和最初のお正月

初日の出と共に新年を迎えた1月1日、もりよし荘の各ユニットではそれぞれ、



力いっぱい職員と声援を送る利用者

### 令和最初の餅つき

12月27日、もりよし荘でもちつき会が開かれ、昔ながらに臼ときねを使ってついた餅をお汁粉にして味わった。施設では一年の最後を締めくくる恒例行事で多くの利用者がホールに集まった。餅つきは職員に利用者から大きな声で「よいしょ」「もっと腰を入れて」と声援が送られた。例年の行事で慣れた手つきの職員が掛け声に応えてきねを一生懸命ついていた。



# 居宅介護支援事業所たより

もりよし荘居宅介護支援事業所の庄司です。在宅生活や介護認定の相談、介護保険以外のサービスについてのお問い合わせにも対応しております。

今回は認知症の日々の暮らしを支える事で大切にしていただきたい事が3つあります。

## ①できる事を続けて貰う。

完璧ではなくとも、少しでもできる事をしてもらうことで、本人に自分も役に立っているという気持ちを持つてもらえます。病気になる前から意欲をもって取り組んできた趣味を続けることは本人の生きがいにもつながります。

## ②接し方を工夫する。

認知症が病気であることを頭ではわかっていても、つい声を荒げて「なぜ、どうして」と感情をぶつけてしまうような時があります。介護者自身が、病気である本人の存在を受け入れ、それを態度で表すことが大切だと言われています。また、周りに迷惑が掛かるような行動についても、わざと困らせようとしている訳ではないので、口頭で説明するだけでは覚えていられなくとも、公式な注意書きのよ

うな貼り紙をすることで、納得してやめる事もあるそうです。変わりゆく家族の言動を受け入れるには、まず自分が変わることが必要だったと多くの家族介護者が話しています。

## ③笑顔を生み出す。

例えば化粧は、綺麗になることで意欲や自信をもたらします。例えばマッサージュは、リラクゼーションの抵抗を減少させる効果があります。これらは認知症におけるリハビリテーションの一環として取り入れられています。自分から笑いを誘うような言葉を掛けると笑える言葉を返してくれる事もあるのです。

認知症とは、単なる物忘れとは異なる脳の疾患であり、近年我が国の高齢化に伴って、患者数は増加を続けています。ご本人だけではなく、介護者であるご家族ご自身が様々な支援を受けて、がんばらない。無理をしない。それが認知症介護の一番の秘訣だと思えます。

【もりよし荘居宅介護支援事業所】

Tel...0186-72-5033 庄司信子

## 全館照明LED化

もりよし荘全館の照明がLED照明になりました。ここ数年でLED照明を採用している施設や店舗が増え、蛍光灯製品の生産も縮小しています。

長寿命、低電力に明るさ向上と技術の進化を実感します。



工事の様子

### 寄付・善意

竹田 勇人 様 森川 健治 様  
田中 祐一 様 栗原 保幸 様  
藤原 潤悦 様 伊藤 壽政 様

### 慰問・ボランティア

新町老人クラブ 様  
更生保護婦人部 様  
日赤森吉婦人部 様  
比内支援学校たかのす校 様  
森吉中学校 様

## 編集後記

今年は何年に比べ寒さを感じることが少ない冬でも過ごしやすい冬でしたがやはり春が近づくとわくわくするものです。

▼昨年は令和最初の年であり、オリンピックの前年という事で何かが始まるのではという期待でいっぱいでした。

▼しかしふたを開けてみれば京都アニメーション放火事件や首里城の火事。そして最後には新型コロナウイルスの蔓延と悲しい出来事が目立った気がします。コロナウイルスの脅威は未だ収まっていけません。終息するよう一人一人ができる努力をしていきたいと思えます。

▼今年は始まってすぐに全世界が恐怖するような出来事が起こっていますが、来年の今頃には皆が笑顔でいられればと願わずにはいられません。

(K・T)